

メーター付コンデンサー（ヤガミ製）の使いかた



本製品はMESHのGPIOブロックと組み合わせて使用することにより、MESHアプリから操作できるスイッチです。

このスイッチを使用することで、MESHブロックと電気回路を組み合わせたプログラミングが可能になります。

メーター付コンデンサーに関する情報は、公式ホームページをご覧ください。（ヤガミサイトへリンクします）

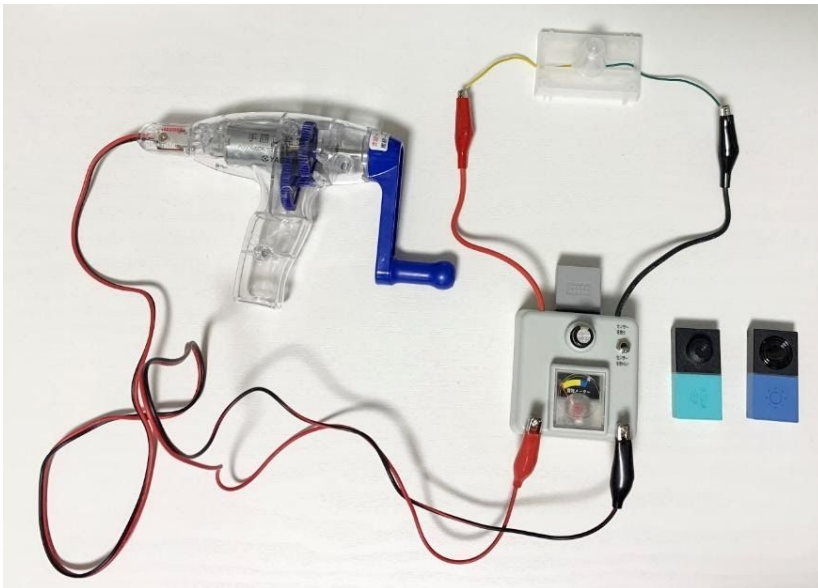
<http://ec.yagami-inc.co.jp/shop/o/o6291500-R02>

使用例

「人が通ったときに暗かったらLEDを点灯する」というレシピを例に説明します。

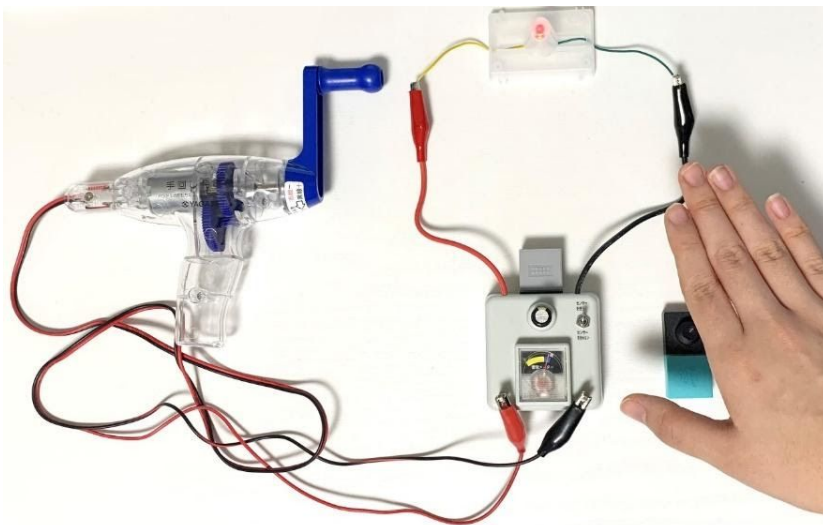
完成イメージ

接続した状態

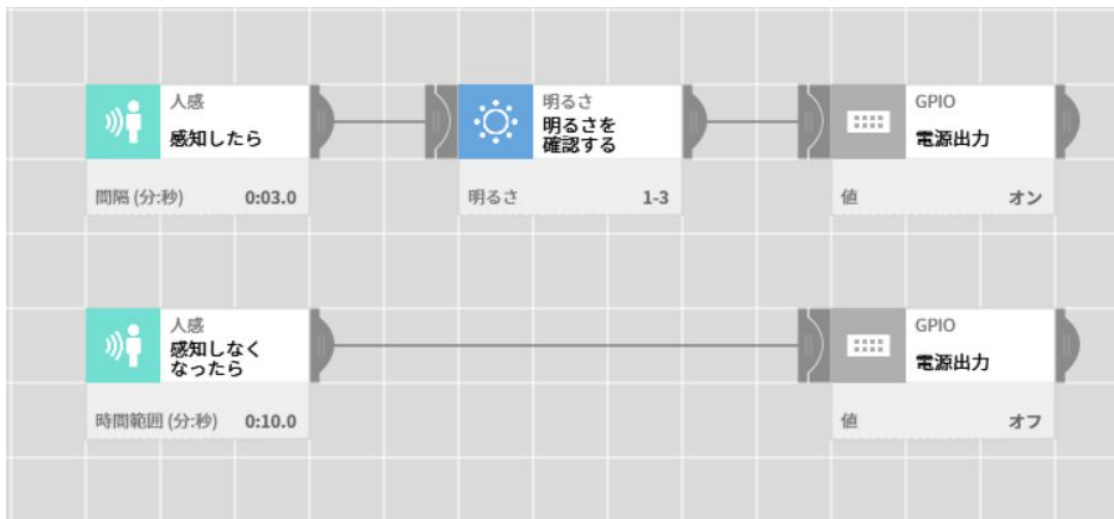


実行例

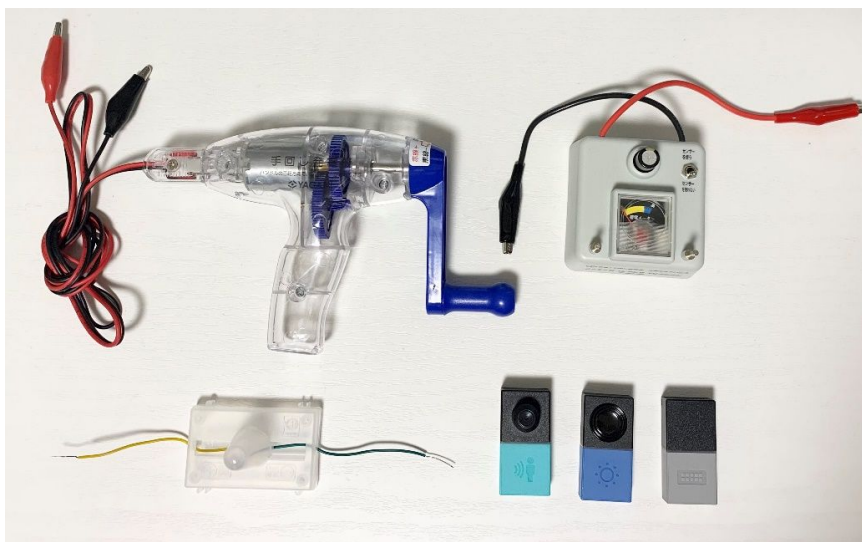
人を感じて、まわりが暗かったらLEDが点灯します。



レシピ例



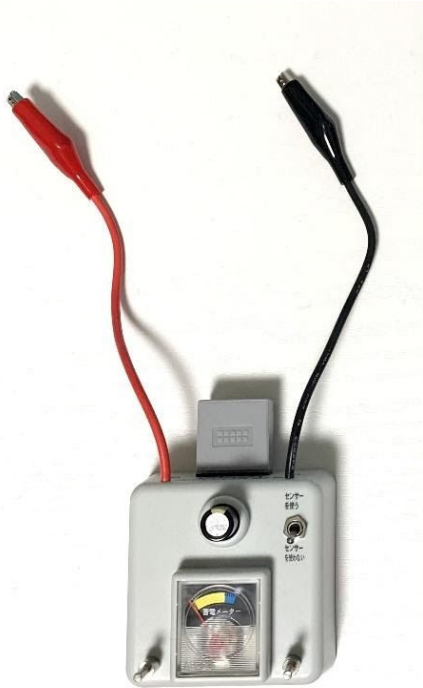
用意するもの



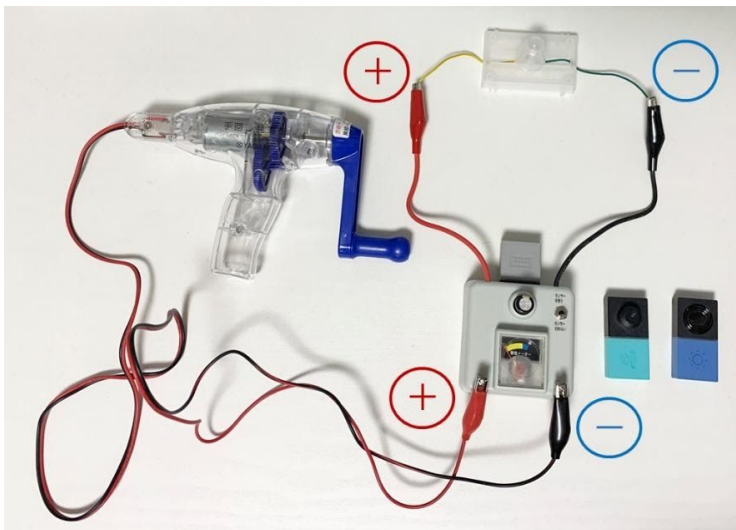
- メーター付コンデンサー
- MESH 人感ブロック
- MESH 明るさブロック
- MESH GPIOブロック
- LEDライト（抵抗入り）
- 手回し発電機

使用手順

1. メータ付コンデンサーにGPIOブロックを取り付ける
GPIOブロックのアイコンが見えるように差し込みます。



2. 電子回路をつくる
メーター付コンデンサー、LED、手回し発電機をワニ口クリップコードでつなぎます。



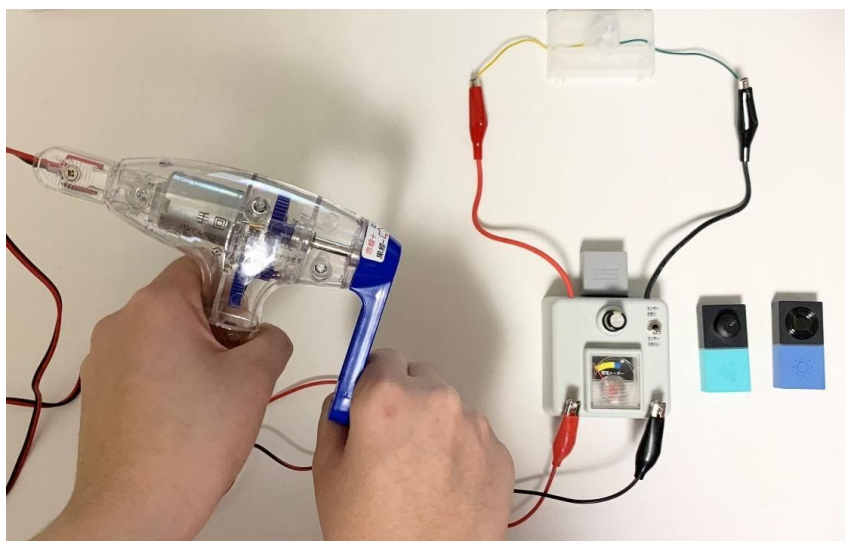
ご注意

- プラスとマイナスが逆にならないように注意してください。
- 右上のスイッチが「センサーを使う」になっているか確認してください。「センサーを使わない」にすると、プログラミングをしていない状態でも電気が使用されます。



3. 発電する

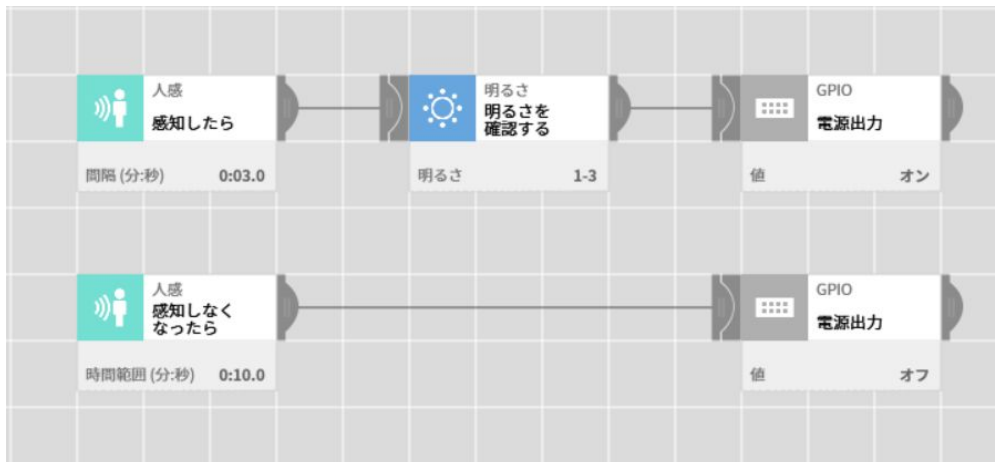
手回し発電機を回して、発電をします。メーター付コンデンサーのメーターが「満」になるまで回してください。





4. レシピを作成する

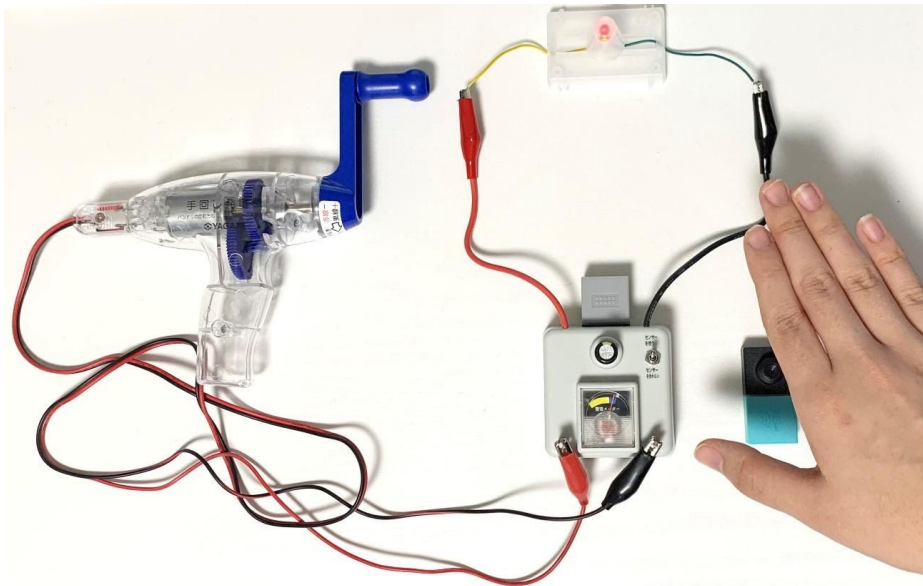
MESHアプリを起動してMESHブロックをペアリングし、レシピを作成します。
GPIOブロックの設定は、「電源出力」を設定します。



5. 実行してみる

実際にレシピが動作するか確かめます。

- 明るさブロックを手でふさぎながら、人感ブロックの前に手をかざすと、人を感知し、まわりが暗いと判断してLEDが点灯します。



- かざした手ははずして、人感ブロックの感知範囲に人の動きが入らないようにしてしばらくそのままにすると、人感ブロックが感知しなくなり、LEDが消灯します。
- 人感ブロックか明るさブロックのどちらか一方のみを感知させた場合、LEDは点灯しません。
- 以上が確認できれば、レシピは正しく動作しています。

応用

説明ではLEDを使用しましたが、LEDの代わりにモーターなどを使用しても、同様の手順で使用できます。プロペラや車輪など、モーターを駆動させる事例でもご活用いただけます。

MESHの詳しい使いかたや活用事例は、MESH公式サイトをご覧ください。

MESH公式サイト

<https://meshprj.com>

